

事業所名 キッズケアホームにこびあ

公表日 令和7年2月21日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・小学低学年から高校生まで利用する際は室内が狭くなることもあるため安全に活動できるように活動内容を工夫しています	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもの人数に対しての配置基準は満たしているがより丁寧な支援を求めたいときには増員をし子どもたちが満足した活動ができるようにしています	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・児童が分かりやすい構造化、提示物をなるべく減らし必要な情報のみに環境を整えています。車いすやバギーでの来所時の雨に濡れることなく施設に入ることができバリアフリーになっています。壁の構造を「Rシステム」を導入し安全に配慮した構造にしています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・限られた空間の中で出入りや換気の為窓の開閉があり室内にはこもりがたまりやすくなっているので清掃を数回に増やしています	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別に対応できるお部屋があります	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の（わくわくプラン）指導案作成から振り返りまでを全職員が共有して関わっています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様のご意見を大切にしミーティングで周知し共通理解・業務改善に努めています	・委員会活動の活性化も兼ねて業務改善委員会を中心に把握・改善策を見立て取り組んでいけるようにしていきたいです
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・半年に1回個別で面談を行っています。また業務改善委員会を中心によりよい支援につながるために模索しながら進めています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在は利用者ご家族と事業所の評価のみとなっています。第三者委員会の実施については今後検討課題としてまいります
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・事業所内研修、外部研修へ積極的に参加を質の向上を高めるよう努めています。また研修は毎月実施しており職員が参加できる機会を設けています ・朝のミーティングを活用し（医療カンファ・リハビリカンファOT PT ST）を実施、多職種連携も構築して質の向上を目指しています	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	・2025年2月に支援プログラムをホームページに公表しております	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・生活 活動 社会性 言語の項目に分け特性やストレngthsを分析し目標や支援内容を設定しています	
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・日々の療育の振り返りを実施し、職員間で共有できるツール（業務日誌）を使用し記録に残す工夫をしています	
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・中間評価等複数の職員で行い日々の支援の振り返りを行いながらアセスメント・評価をし行い支援計画の共有をしています	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシート、保護者、本人そして相談支援専門員の方からの情報と日々の様子の実態把握をし必要な支援に繋げています	・アセスメントツールをもっと効果的に活用できるように研修を取り入れていきます
	16 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・発達状況を踏まえ5療域に関する具体的な支援内容を設定しています	

事業所名	キッズケアホームにこびあ
------	--------------

公表日 令和7年2月21日

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・過去の実践したプログラムを振り返りながら活動プログラムが固定化しないように工夫をしています ・月案・日案を立てて子どもたちの実態に合わせた活動プログラムをチームで行っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・過去の実践したプログラムを振り返りながら活動プログラムが固定化しないように工夫をしています ・療育後の振り返りでは子どもたちの反応や遊びの内容・支援について検証しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・お子さんの実態に合わせて一人ひとりに合わせた対応や支援を行い言語療法による個別支援と小集団での活動を計画しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・毎日朝礼時に利用人数やその日の活動・ねらいと支援内容、配慮すべきことを周知し職員間で共有しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・その日の振り返りを毎回行い支援の方向性を統一できるように共有しています ・お休みの職員へも業務日誌へ記載をして記録に残しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・個人カルテへ個別の姿を記録します。SOAPを意識した記録、必要な情報を残せるように心がけています（主観的情報・客観的情報）	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・半年に1回支援計画を元に中間評価を行い支援内容の確認、要望や必要性な支援を見直しを行っています	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・地域交流の機会の提供について計画・実施できるように工夫したいと考えています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・お買い物学習や生活、活動の場面で自分で選択がしやすいように視覚的に掲示したり事前にデメリット・メリットを伝え判断が想定していたのと違ったとしてもその自己決定した過程を認め関わるように努めています	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・主に児童発達支援管理責任者や個別支援で関わりを持つ言語聴覚士が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・地域の保健師による検診等で療育の必要性があると判断されたお子さんの見学や連携がスムーズに取れています。同事業所での訪問看護ステーションから療育につながるケースの体制も整っています ・地域の中で医療的ケア児への療育ができる施設と認知されているため小児科医からの事業所へ相談・連絡を受けることもあります	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・学校によっては情報の提供がありそれをもとに共有・調整を行っていますがほとんどの場合は保護者からの連絡が主であります	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・多機能型施設なのでほとんどのお子さんが就学前からの支援を提供しています。転入等で介入する場合には移行支援シートの活用をしています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・今年対象者がいるので準備を進めています	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・年に6回そだちサポートプロジェクトに参加をし事例検討会や研修会にて鹿児島大学臨床心理学研究科の先生に学ぶ機会を設けています		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域の公園等で地域の子もたちと活動できる機会はあるが交流とまではできていない状況。今後は地域の行事への参加等計画をしていきたいです	

事業所名 キッズケアホームにこびあ

公表日 令和7年2月21日

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・子ども部会・子ども支援ネットに運営委員会として積極的に参加をしています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・送迎時、お迎え時には保護者とのコミュニケーションをとり情報共有する機会を作っています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・ペアレントトレーニングの島内研修開催の案内を保護者へ周知しています。また保護者との面談や母子通園時に保護者の思いや要望に丁寧に傾聴をし必要な支援・アドバイス、勉強会への情報提供を行っています	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時にお伝えしています	・支援プログラムについては年度初めに保護者会等で随時説明をしていきたいです
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・契約時や中間評価の際にご家族・本人の意向を確認する機会を設け個別支援にも取り入れています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	・個別支援計画を掲示しながら説明を丁寧にすることを心がけています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・兄弟支援についてもニーズを感じる事が多いです。必要な支援が提供できるように心がけています。必要に応じては早急に対応できるように各関係機関との連携も迅速な対応を心がけています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	・保護者会役員さんによる保護者会便りを作成配布して頂きました。参加できなかった方にも周知することができ感謝です	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・保護者の方には契約時に需要事項説明書に記載していることを周知しています。子どもたちからの発信を真摯に受け止め傾聴することを心がけています。また記録に残して情報を共有することやその後のフォローもできるように努めています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・月に1度にこびあ便りを発行しています。写真にて活動の様子・活動日程を周知しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・職員間でも意識が高く事務所への工事・点検等関係者以外の方が入室する場合個人情報となる物には目隠しをしております	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・意思疎通が難しい場合は絵や写真などを使用したり、保護者への支援としてはご家族の中のキーパーソンとなる方に立ち会って頂いたり、お帳面等はひらがなで対応する等配慮をしました	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・お祭りや発表会のような行事は設けていませんが以前はハロウィンに合わせて地域にある店舗に依頼をし交流の場を設定しました。今後もすぐにもできそうなことを検討しイベントにかけ合わせての地域交流を検討していきたいです
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・すべてのマニュアルを作成・周知しています。月1回想定した訓練を行い保護者参加の訓練も年に1度実施しています	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・BCPにそった研修・訓練を実施しています。また定期的にマニュアルの見直しも行いながら避難訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・利用開始時に服用されているお子さんの把握をし定期的に面談等で随時服薬の状況把握を行い確認作業を行っています。また緊急時の判断・対応等の確認をも保護者の方と行っています	

事業所名	キッズケアホームにこびあ
------	--------------

公表日 令和7年2月21日

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・現在対象児がいません	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画を作成し必要な研修や訓練等も行っていきます	・安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っていきます
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・安全計画に基づき感染症等についての注意喚起は分かりやすく掲示板に周知しました	・保護者へのお知らせが安全計画に基づいて行なわれていることへの周知が不足しているためより分かりやすい周知方法を検討
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・リスクマネジメント委員会が中心となってヒヤリハット事例を活かし安心・安全な活動ができるよう心がけるとともに危険予測力を向上できるように共有しています。また事例検討をする中でスタッフ間のリスクへの意識を高める工夫をしています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・外部研修、事業所内研修を実施しています ・虐待防止運営委員会を定期的に開催、その都度協議しています（必要に応じてチェックシートをつけて評価しています）	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・虐待防止運営委員会を定期的に開催しています。身体拘束の適正化の為、指針を作成・掲示し周知をしています	

放課後等デイサービス

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズケアホームにこびあ
------	--------------

公表日 令和7年2月21日

利用児童数 24世帯配布/ 15世帯回収 回収率62%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2				・指定基準はクリアしています。長期休み等は手狭になることが多いので戸外活動を計画し十分に活動量が確保できるように努めます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3				・国の基準を守り加算要件を満たす人員配置を行っています。今後も専門性を維持できるよう努めていきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		1		・車いすや肢体不自由児のお子さんも安心して活動ができるようにバリアフリーになっています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					・朝礼前、昼食後、療育終了後、と掃除を行い次亜塩素酸ナトリウム水溶液や重曹アルカリ水を使用し教材、机、椅子、ドアノブ等の消毒を行い清潔さと心地よさの維持を心掛けています
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・とてもそう思う	・個々の発達段階や特性、ニーズを職員間で共通理解に努め安心して過ごすことができる配慮、手立てを支援に繋げていきます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			3		・今年度より支援プログラムを公表しています。当事業所の支援内容と支援プログラムはガイドラインに沿って作成・実践をしています
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					・日々の生活や活動場面での観察、発達検査の報告を通じて子どもの成長・発達、本人のニーズを含めた支援計画を作成しています
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					・当事業所の個別支援計画は放課後等デイサービスのガイドラインに記載されている提供すべき支援に基づき「本人支援」「家族支援」「移行支援」をお子さんの発達状況を踏まえた上で必要な事項を選択、支援計画に組み込んでいます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					・支援内容や支援の振り返りを日々行っています
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					・毎月、活動内容をお便りで発信しています。長期休みならでは活動・経験が出来るように計画を立てています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	2	3		・地域の子ども達と活動する機会が持てていないのが現状です。今後の検討課題とさせていただきます
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					・運営規定の内容を踏まえた重要事項説明書、契約書を使用し説明をしています。支援プログラムについてはホームページ上で公表しています
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					・個別支援計画を提示しながら支援内容について説明をしています。本人へも目標を伝えサインをもらっています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15					・保護者会にて勉強会を実施しました。外部研修会についての周知や情報提供をさせて頂きました。今後は外部講師による研修会、ライフステージに応じた情報提供ができるように努めます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15					・送迎時や面談の際に活動での様子を口頭やお帳面等で共有しています。共に生活する中で変化に気づける視野を持ちお子さんの状況把握に努めています

事業所名	キッズケアホームにこびあ
------	--------------

公表日 令和7年2月21日

利用児童数 24世帯配布/ 15世帯回収 回収率62%

保護者への説明等	16	17	18	19	20	21	22	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					・とてもそう思う	・定期的に面談を実施したり療育後のフィードバック時にお話をする機会を設けています。より相談しやすい関係性・体制作りに努めます
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					・とてもそう思う	・本人支援はもちろんのこと、家族支援も含めた丁寧な支援を心がけています。困った時はもちろんのことそうでない時も思い出してくれる人であり事業所でありたいと願っています
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15					・とてもそう思う	・年に3回保護者会を開催、クリスマス会、進級おめでとう会での保護者の出し物依頼等、保護者主体となって交流ができる場を設けています
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15					・とてもそう思う	・相談や苦情受付窓口については重要事項説明書を提示しながら説明をしています。 ・いつでも相談ができる人や場があることを周知しながら緊急性のある場合には迅速に対応することを心がけています
20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15						・一人ひとりの発達状況に応じてコミュニケーション手段を検討しています。その日の活動の流れ等は黒板にて掲示し安心して活動に参加できる工夫をしています ・全体でのことはこびあ便りやグループLINEでの周知や個別に配慮した情報を提供しています
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1					・月1にこびあ便りを発行しています。自己評価の公表はホームページとこびあ玄関入口にてファイルにて公表しています
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15						・今後も個人情報の取り扱いには十分に気をつけ守秘義務を徹底致します
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					・マニュアルを作成していますが詳細についての周知不足を感じます。年度初めの保護者会等で周知できるようにします。保護者を含めた緊急時全体訓練は年に1度行っていますので今後も継続していきます
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15						・BCPIに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認を月に1度子どもたちと想定訓練を行っています
25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15						・安全計画に基づいて行われていることについて保護者の方への周知不足でした。より分かりやすい周知方法を検討します
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15						・安全計画に基づいて行われていることについて保護者の方への周知不足でした。より分かりやすい周知方法を検討します
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				・とてもそう思う	・子どもたちが安心感を持ち通所できるために信頼関係を大事に安心できる人・場所であるように今後も丁寧な支援を心がけます
28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					・いつも色々な活動を取り入れたたくさんの経験をさせてくれて感謝です ・とてもそう思う	・子どもたちが安心・安全に通所できるように今後も楽しいわくわくする活動を計画していきます
29	事業所の支援に満足していますか。	15					・にこびあでの活動が楽しく先生方がたくさん寄り添って頂いているおかげです ・とてもそう思う ・大満足です	・今後も子どもたちそしてご家族の皆様が安心して成長できるように子ども主体の活動を大事に一人ひとりの得意こと、好きな事を強みとできる支援を心がけていきます